



βチタン極細管(スパイラル加工)

同社は各種分析装置や医療器具向けにチタン、ステンレス、特殊金属など難加工材の精密部品を機械加工してきた。07年にチタン-バナジウム-アルミ系合金のβチタン極細管

の製品化に成功。12年に生産を開始し、同年末にはβチタン専用の京都工場・R&Dセンター(同)を本社近くに立ち上げた。

**βチタンは耐食性と強度に優れている上**

## 工程改善、能力50%向上

一九精密機械工業(本社=京都市南区、二九良三社長)は、チタン合金の一種であるβ(ベータ)チタン極細管の生産能力を50%引き上げた。医療やレジャー分野の新規需要増加に対応するため、製造工程を改善。来期(2015年3月期)のβチタン関連の売上高は前期比約5割増の5億円を目指す。

# 二九精密機械

## βチタン極細管増強 医療・レジャー需要拡大

で、βチタン極細管の納期は半年から1カ月に大幅短縮した。極細管の量産サイズは外径1・5ミ、肉厚0・5ミ前後。月産能力は長さ180ミメートルで約2000本だつたが、1年かけて工程改良や人員を増やすなどして、月産1000本分の増強体制を構築した。現在、人員は27人体制の2交替制。極細管や加工部品の短納期対応のため、外径6ミサイズの中間材料も積み増している。

βチタン極細管は、医療分野では分析機器部品や手術器具、レジヤー分野では高級釣竿の穂先に採用され、こは抽伸、熱処理、研磨などを繰り返して造管するほか、微細加工や溶接などの組み立ても行っている。これら一貫生産が整ったこと

知られるようになつてきた」と、新工場稼働から1年をへて、手ごたえを感じている。昨年9月からは米国メムリー社(本社=コネチカット州)と、ニッケル-チタン合金極細管「ニチノール」の国

内販売に関する代理店契約を結んで、βチタンとの二本立てで、特殊合金メーカー・メムリー社(本社=コネチカット州)と、ニッケル-チタン合金極細管「ニチノール」の国

内販売に関する代理店契約を結んで、βチタ